

## 第54回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日時: 2015年6月25日(木)16:30-18:20
2. 場所: BCAO 神田オフィス
3. 出席者(敬称略) 8名  
副島、國貞、清水、菅谷、高桑、高橋、幡谷、中谷(書記)

### 4. 内容

#### 効果的な訓練の進め方

##### ①防災・BCM 運営における悩み

- ・参加者がお客になっている。(他人事のように考えている人が多い。)
- ・推進者と役員間にギャップがあり、なかなか理解してもらえない。
- ・全社員へのBCP浸透が難しい。(永遠のテーマ?)

##### ②どのような訓練を実施しているか?

- ・避難訓練でもBCP視点を取り入れた避難訓練が必要である。
- ・社内でバーベキューパーティ(電気・ガス停止を想定)
- ・訓練大好き社員を増やす訓練を考えている。(興味を持たせる工夫が必要)

##### ③今後どのような訓練を実施したいのか?

- ・カントリーリスクに対応した訓練を検討中である。  
(東南アジアの国々は、災害に対する関心がなくて対応に苦慮している。)
- ・地域や社内でBCPの輪を広げていきたい。
- ・経営層の意思決定が必要な訓練を検討したい。(組織内での実施は難しい)

### 5. 次回開催

2015年7月16日(木) 16:30~18:00

場所 : 調整中

8月21~22日は、南相馬市訪問を予定している。

以上

防災・BCPにおける訓練の種類(参考)

【BCM 教育・訓練(演習)の種類と目的】サンプル					
項	区分	訓練内容	訓練目的	対象者	備考
1	啓発・研修(気づき)	BCP基礎研修	新入社員を中心にBCPの理解と浸透	全社員	研修会、小集団活動など
2		e-ラーニング	BCPの必要性や取組み方針の理解	全社員	全社員への意識浸透
3		クロスロードゲーム	災害対応の価値観を組織内で共有	全社員	多くの人達と災害対応の価値観共有
4		モックディザスタ	危機対応の重要性認識、及び危機対応能力の向上	経営者 対策本部員	危機管理の重要性や共有
5		出版物、社外セミナー	BCPに必要な知識の多方面から習得	対策本部員	広範囲な知識習得
6	試験及び訓練(機能評価・正確性や能力向上)	防災備品の管理	備蓄品や緊急備品の置き場所、在庫確認、有効性確認及び他拠点との輸送方法確認	総務部門	備蓄品の棚卸実施と必要備品の補充配送手段の確認
7		非常用通信機器確認	MCA/衛星携帯、及びSNSなどの通話可能エリア確認 操作方法の習熟度向上	各拠点主要メンバー	通話可能エリアの確認 操作能力向上と要員拡大
8		自家発電設備動作確認	自家発電設備の機能や能力確認、及び切替時間短縮	総務部門	電気保安点検に併せて実施
9		防災訓練	人命安全を中心とした訓練による防災力強化(避難時の時間短縮、救急救命スキル習得など)	全社員	避難訓練、消火訓練及び負傷者対応訓練(AED操作など)
10		安否確認訓練	安否確認システム(Web171/SNS等含む)の機能確認 緊急時の有効性評価	全社員	人事異動に併せて実施 全従業員の意識向上
11		徒歩帰宅訓練	徒歩帰宅手順の検証	全社員 (対象者選定)	徒歩帰宅可能な地域選定 帰宅手法の検証
12		参集訓練/籠城訓練	本社や代替場所への参集方法の検証、及び籠城確認	対策本部員	参集方法、時間の検証 籠城による課題抽出
13		在宅勤務訓練	在宅勤務の機能や有効性評価・検証(セキュリティ管理の検証)	全社員 (対象者選定)	在宅業務範囲の明確化、有効性評価
14		手順書確認(読み合わせ)	緊急時行動計画書の組織体制や手順・ルールの評価・改善	BC関連部門	業務内容や手順変更時に実施
15		対策本部立上げ訓練	対策本部の役割認識や設置場所・設備の有効性評価(本社及び代替場所)	対策本部員	必要機材、システムの有効性評価
16		代替先切替訓練	代替先への切替え確認、及び正確性と時間短縮(代替移動、他部門へ切替など)	BC関連部門	継続戦略に応じた機能や有効性評価
17		業務継続確認訓練(委託・アウトソーシング)	事業継続部門と委託先・サプライヤとの連携強化、事業継続能力の向上	対策本部員 BC関連部門	事業継続性の確認
18		お互い様連携訓練	互恵契約を締結した企業との連携確認	対策本部員 BC関連部門	事業継続性の評価確認
19		データリカバリ訓練	バックアップデータのリカバリ復旧、及び正確性と時間短縮	IT担当部門	データ復旧の確認及び操作能力向上
20		システム切替訓練	システムの切替え機能確認、及び正確性と時間短縮	IT担当部門	代替システムの機能、有効性評価
21	演習(危機対応能力の向上)	危機管理対応訓練	危機発生時の戦略決定やトリアージの能力向上	経営者 危機管理責任者	情報収集、整理、分析手法などの対応能力向上
22		危機広報訓練	報道やプレスに対する対応能力向上(HPアップ含む)	経営者 広報担当部門	報道内容や記者会見などのQA対応
23		初動対応訓練(平日・休日編)	発災から初動対応確認(優先対応)と習熟度向上(休日・夜間に実施)	対策本部員	臨機応変な危機対応能力の向上
24		部門間連携訓練	営業/製造/購買/情報システムなど部門間の連携強化	BC関連部門	部門間での相互連携確認
25		業界間連携訓練	同業他社や関連業界、及び複数の取引先を含めた連携訓練	対策本部員 BC関連部門	事業継続性の確認
26		自治体連携訓練(消防・警察など)	関連公的機関や地域・コミュニティなどとの連携強化、緊急対応能力の向上	総務部門 BC関連部門	他組織との連携・意思疎通確認(情報収集・連携活動)
27		総合演習	組織全体の役割・行動や連携確認(機能単位/組織全体/ストリートなどの範囲)	全社関連部門	さまざまなシナリオによる演習 連携・意思疎通確認(情報収集・分析)